

第3回総合球技場基本計画検討委員会

検討資料 総合球技場の基本的要件について

平成30年5月7日

1. 総合球技場の基本的な施設要件(収容人数)

出典：基本構想 6 ページ

以下のとおりの委員会からの報告を踏まえ、収容人数を20,000人程度として、整備を検討するものとする。

3種の競技における収容人数の基準を踏まえると20,000人以上が必要条件

- ・ サッカー：日本サッカー協会「スタジアム標準」では、J1 開催において
20,000人以上
- ・ ラグビー：ジャパンラグビートップリーグ規約では、10,000人以上
- ・ アメフト：日本アメリカンフットボール協会では、現在規定はない

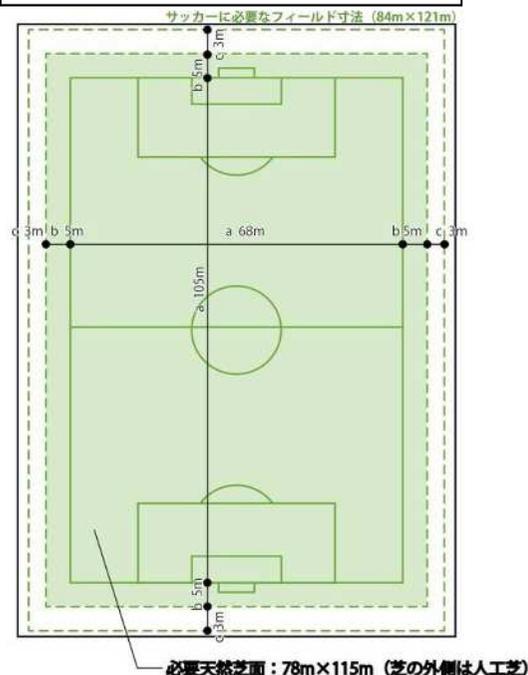
他県の新設球技場の実績や新設計画から推計すると19,000人と整理される総合球技場の後背人口に、新設効果やリニア駅の開設効果などを加味した場合でも20,000人程度の規模が妥当

1. 総合球技場の基本的な施設要件(フィールド)

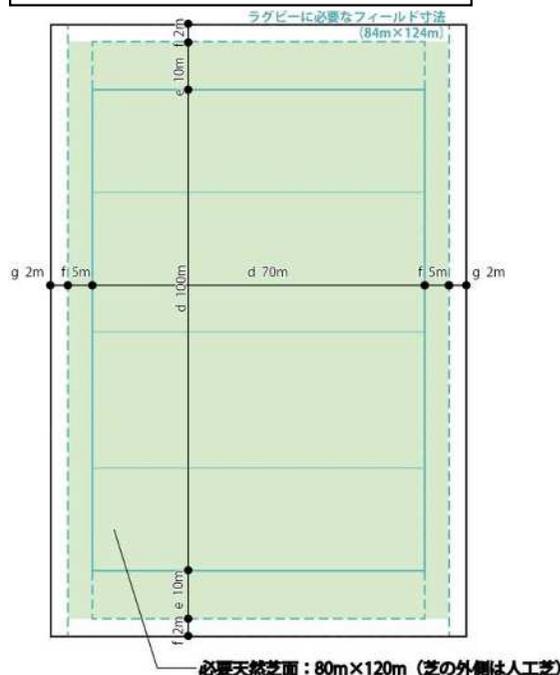
出典：基本構想 8 ページ

委員会からの報告を踏まえ、3種の競技の基準に基づき必要となる寸法として、総合球技場の基本のフィールド寸法は、**84m×124m**とする。(維持管理区域2～3m含む)

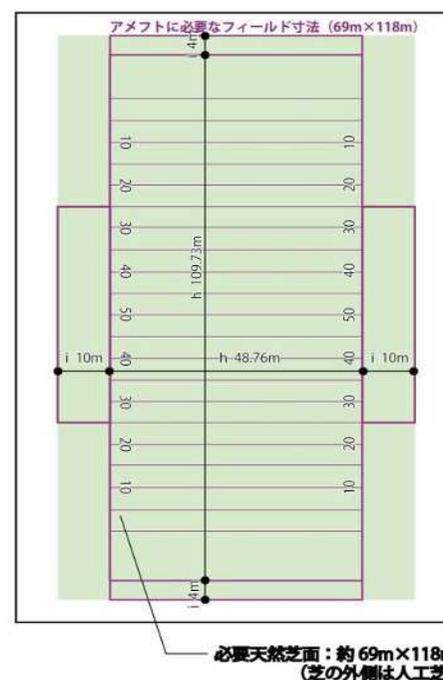
サッカーフィールド：84m×121m



ラグビーフィールド：84m×124m



アメリカンフットボールフィールド：約69m×118m



1. 総合球技場の基本的な施設要件(諸室機能)

競技関連	チーム更衣室、審判更衣室、室内ウォームアップエリア、マッチ・コーディネーション・ミーティング室、ドーピングコントロール室
運営関連	運営本部室、記録室、場内放送室、大型映像操作室、警察・消防司令室兼控室、医務室、その他(セキュリティスタッフ控室、ボランティアスタッフ控室、ボールパーソン更衣室、エスコートキッズ控室、前座試合用チーム更衣室、マスケット・演出関係控室、現金管理室、ごみ集積所等)
ホスピタリティ関連	V I P 受付、VIP席、VVIP席、V I P ラウンジ、VVIPラウンジ、ビジネスラウンジ、スカイボックス
メディア関連	メディア受付、記者室、カメラマン室、記者会見室、ミックスゾーン、フラッシュインタビュー・ポジション
中継関連	実況放送室(テレビ、ラジオ)、中継用スタッフ控室、テレビ中継カメラ設置スペース、テレビニュース関連E N Gカメラ設置スペース、伝送用機材等設置スペース、ケーブル設置スペース
アクセス関連	駐車場(一般用、車椅子用、団体バス用、チーム用、緊急車両用、VIP用、メディア用、テレビ中継用、大型トラック用、売店用、シャトルバス用、その他関係者用)、駐輪場、シャトルバス用、タクシー乗降所
観客関連	入場券売場、入場待機スペース、入場ゲート、総合案内所、救護室、授乳室、喫煙スポット、トイレ、コンコース、公衆電話、飲食売店、グッズ売店

出所) スタジアム標準 / 日本サッカー協会をもとに作成

2. Jリーグが定めるスタジアム基準(検査要項)への対応

主要設備のスタジアム基準と現陸上競技場(中銀スタジアム)との比較

項目	基準(スタジアム検査要項)		現陸上競技場(中銀スタジアム)
屋根	原則として観客席は100%覆われていること(新設・大規模改修時)		メインスタンドの一部
観客席	全席個席	C	ベンチシート
座席数	15,000人		17,000人
トイレ	100個(洋式トイレ) (1,000人に対して少なくとも 洋式トイレ5台)		洋式トイレ88個(常設65 仮設23) 和式トイレ25個(常設21 仮設4)
Wi-Fi	高密度Wi-Fiが利用できること		一部の通信会社のフリーWi-Fi
大型映像装置	大型映像装置を設置すること		1台

= 必ず具備しなければならない条件

= 具備する期限については今後を検討を続けていく条件 C = 具備が望まれる条件

(参考) 全国のスタジアム整備の状況

Jリーグが2017年冬季のレポートでまとめている各地のスタジアム整備の状況については右図のとおり。2015年から現在までに、長野、吹田、北九州、今治の4施設が新設された。Jリーグの基準を満たすべく、全国各地で整備推進の動きがみられる。



3. 計画地の条件整理



概要（小瀬スポーツ公園全体）

開園年度：1986年

公園面積：46.0ha

所在地：山梨県甲府市小瀬町840番地

公園種別：運動公園

施設内容：陸上競技場（400m×8コース）

補助競技場（400m×6コース）

野球場（両翼92m中堅120m）

球技場（130m×120m）

屋外プール（50m×9レーン、25m×7レーン）

体育館（メイン、サブ、付帯施設）

武道館（柔道、剣道、弓道、相撲、付帯施設）

庭球場（サンドフィルコート16面）

アイスアリーナ（60m×30m）

クライミング場（屋内、屋外）

立地特性

- 総合的な競技施設を有し、全国規模のスポーツ大会等の開催が可能な総合運動公園。
- 計画地に隣接して建設予定の新山梨環状道路の利用が可能
- 将来リニア駅から車で約5分（新環状道路の利用）と利便性が高まる
- 計画予定地は、一部市街化調整区域及び農振農用地を含む